



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／中畑隆一
- 副会長／小口泰史・原 史郎
- 幹事／佐藤有司
- 会報委員長／北澤洋之介

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2652 回例会 2014 年（平成 26 年）2 月 25 日(火)

点 鐘：中畑 隆一
斉 唱：我等の生業

司 会：竹村 一幸
ラッキーNo：No. 3 竹村 一幸

小口哲男会員に黙祷。

会長挨拶

先週の埔里 RC の皆様が来訪されての夜間例会、ご苦労様でした。特に当日、朝から接待に同行された皆様には大変ご苦労様でした。ありがとうございました。

今回は木の良さについて話しをします。気は切り倒されて材木となった後でも息をしています。吸湿作用、放湿作用等、自然の素材としての性質を保ち続け、さらに一定の期間、強度を増すことも確かめられています。

建材としては理想的なこの木を用いて立てた住宅は、本来、丈夫で長持ちするものです。千年以上もの長寿を誇っている法隆寺は別格としても、農家や民家で百年以上経っている住宅はざらにあります。静岡大学の調湿機能実験結果によりますと、柱一本に含む水分量は梅雨期でビール瓶約 3 本分、冬期でビール瓶約 2.5 本分の水分を含み、常にビール瓶約半分を吸ったり吐いたりして湿度調整をしています。

また、居住性でのマウスを使つての実験で、木製と亜鉛鉄板製とコンクリート製の飼育箱を各 10 箱ずつ作つて飼育し、その子供の成育状況を観察したところ、生後 23 日までの生存率で木製が 85%、金属製が 41%、コンクリート製が 7%となり、無機質材より居住性に優れていることを示しています。やはり日本に古来から伝わる木材を主とした住まいで心身ともに健康な生活をしたいものです。

会長報告

- ・ 明日、小口哲男会員のご葬儀に会長・幹事で参列させていただきます。また、ご遺志金を頂きましたので、ご報告いたします

幹事報告

- ・ 受付に埔里 RC からお土産(ウーロン茶)があります。一つずつ持ち帰って下さい。名簿にチェックを付けてからお持ちください。



卓 話「交流員について」

国際交流センター 交流員
マシュー・テイラー様

皆様、こんにちは。本日は、お招き頂き、ありがとうございました。只今ご紹介頂きましたマシュー・テイラーです。覚えづらい名前だと思いますが、皆さんご存知のとおり、北海道に「摩周湖」という有名な湖がありますね。残念ながら摩周湖にまだ行ったことがないマシューです。どうぞ宜しくお願い致します。

2001年に日本語の勉強をしに大学に入学し、その時に日本にも留学した経験があります。日本人によく聞かれることはなぜ日本に興味を持っているのか、又どうして日本語を勉強することにしたのかです。そのきっかけは幼い頃にありました。私の家族はホームステイファミリーとして世界中の様々な方を受け入れていました。そして外国の方々とふれあう機会が増えるにつれ、海外に対する関心が生まれてきました。たまたま日本人の受け入れが割合多かったため、日本が特に魅力的に思うようになりました。その時の夢は日本語を勉強して日本へ行ってみることでした。

現在国際交流員として岡谷市民やたくさんの子供たちとふれあうことを通じて自分と同じように海外に対して関心を持つようになってくれるように支援が出来、そしてその関心が国際理解に繋がればと思います。本日は皆さんの前でこういうお話する機会があることはとても感謝しています。改めてお招き頂きありがとうございます。

まずは私が勤めている国際交流センターと岡谷市国際交流員としての活動を紹介させていただき、国際交流センターでは岡谷市在住外国人の支援を主にしている組織です。1992年に設立されて20年も経っています。生活相談サービスを4か国語で行っています。生活相談は様々で日常生活に関わる病院の紹介等の相談から旦那さんにDVをうけているというような相談です。そして、在住外国人のために日本語教室も週に2回開催しています。日本語が話せないと日本で生活するのがとても不便です。例えば病気の時、病院はどこにあるか調べることもできないし、病院行っても症状をうまく言えないし、先生の診断も勿論わからないし、不安でいっぱいになります。国際交流センター開催日本語教室ではこのような時に使えるサバイバル日本語を目標にします。

後は、外国籍児童生徒支援も行っております。これは国際交流センターの重要な役割の一つです。日本の教育を受けている外国籍の子供は岡谷に少なくないです。そのため母国語の支援員4人が定期的に市内の小学校に訪問し、外国籍の子供たちにいろんなサポートをしています。現時点では支援が必要な子供たちは20人ぐらいいます。

最後になりますが、翻訳・通訳サービスも提供しています。主にはビザなどに関わる行政書類を翻訳し、市役所の窓口で通訳を行っております。

保育園などで子供達と交流する時も、外国の日本と違うところばかりが見てしまう習慣をだんだん変えていきたいと思っています。勿論違うところはたくさんありますが、似ているところも多いということを知って貰いたいです。イギリスの代表的なものなどを紹介しながら日本とイギリスの違いを理解して貰いながら共通するところを強調します。本日もイギリスの紹介を頼まれました

たので、これから紹介したいと思いますが、保育園での紹介と同じようにイギリスと日本の共通することについて話したいです。

本日紹介して行きたい4つの共通する点はお茶の文化、マナーを大切にする習慣、謙虚の気持ち、愛国心や感情表現です。

猫舌の私はお茶も紅茶もあまり飲みませんが、それにしても日本とイギリス双方のお茶の文化はとても興味深いです。そして、日本に来て茶道の文化体験に参加する機会がありまして、非常に印象的でしたが、立ち上がれないほど足がしびれてしまいました。イギリスのアフタヌーンティーを摂る時には、快適な椅子が欠かせないです。

茶道やアフタヌーンティーにはマナーがとても大切でお互いの国の社会にマナーが重視されています。イギリス人は、日本人のように場の空気を読んで、行動したり、意見を言ったりする事が多いといえるでしょう。*そして人間関係にも少し距離をおくこともあります。もつという、仲良くなるまで時間がかかります。逆にそのせいで、特にアメリカ人に比べると社交的な国民ではないと思われてしまう事もあります。

もう一つの大事なマナーはお店などに入る前必ず後ろに誰がいるか確認して、もし誰かが入ってきそうでしたら、その人が来るまでドアを開けて待つことです。日本ではこれはマナーになっていなさそうで今でも少し驚きます。私には習慣になり、自動ドアのないコンビニなどに入ったり出たりするたび、誰かがいれば、必ずドアを開けて待ちます。相手は必ずお礼を言ってくれますが、一瞬驚いた顔をする人は少なくありません。

マナーに関連しますが、謙虚の気持ちもイギリスでは礼儀正しく大切に思われています。東京で留学した時もそうですが、現在通っている日本語教室もそうです。中国人をはじめ、アメリカ人、イタリア人などの様々な異なる国籍の方と仲良く日本語の向上を目指しますが、大勢の方を困らせるいくつか決まり文句があります。それらは「口に合わないかどうかわかりませんが」、「粗末なものです」、「味は保障できませんが」、や「いいえいいえ大した物ではありません」などです。こういうフレーズをなぜ使うかがなかなか理解しづらいみたいです。しかし、イギリス人が使う英語には似ているような言い方が沢山あり、日本人の謙虚な気持ちがとてもわかりやすく、謙虚な決まり文句を使うのが当然です。例えとして、もしこちらにいらっしゃる方に英語で「素敵なネクタイですね」と言って頂いたら、「そういう風に言って頂いてありがたいですが、それほどいいものではないですよ」と遠慮した返事がかえってくるでしょう。

最後にお話する共通点は愛国心や感情表現です。皆様、日本人は愛国心が強いと思いますか。よく聞くのは愛国心が弱いということです。イギリス人もヨーロッパの中では最も愛国心が弱いと言われています。それでも、日本もイギリスも長い歴史や豊かな文化があり、圧倒的な美しい自然に恵まれ、本当はそれぞれの国民がお互いの国に対して誇りの思いがあるはずでしょう。2年前のロンドンオリンピックに対しての関心や大騒ぎは愛国心の率直な表現ではありませんか。

それではなぜ日本やイギリスの国民は愛国心が弱いと思われていますか。私の意見をいわせてもらえば、日本人やイギリス人は本音と建前がある上に、双方の国民は感情表現に非常に気を遣うからです。Kate Fox という人類学者が書いた「Watching the English」という本にも同じように書い

てあります。日本人も勿論そうですが、イギリス人も基本的には感情表現をあまり大げさにせず、周りを考えながら控えめに行動します。イギリスや日本で広がったオリンピック・フィーバーがみんなの愛国心を湧き出しましたが、このように特別な出来事がない限り、周りに不愉快な気持ちをさせないため、本音の自分の国に対しての誇りや愛国心の強さをイギリス人も日本人も表さないでしょう。

以上の点をまとめまして、イギリスと日本はもちろん違うところがありますが、似ているところも少なくないですね。これは日本とイギリスに限ることではありません。私にとってどこの国でも自分の国と共通点はかならずあります。外国を相違点で見ればかりではなく、我々の類似点や共通する感情に目を向ければ多文化共生・平和なグローバル社会の構築へ一歩前進だと私は思います。今日は、岡谷市国際交流員として皆さんにこのメッセージを届けたいと思ってまいりました。

拙い日本語ですが、最後までご清聴、誠にありがとうございました。

ニコニコボックス

2月18日

大橋正明・小口泰史・尾関秀雄・北澤洋之介・小松正二・佐藤有司・武井利夫・中畑隆一・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・平沢清文・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎 埔里ロータリークラブの皆様、足元の悪い中をようこそ。

守屋麻里・井上保子 チョコッと遅れのチョコレート、お受け取りください。愛をこめて。

小口泰史・小林純一・佐藤有司・杉田隆夫・瀬戸雅三・中嶋孝一・中畑隆一・濱毅・

濱 俊弘・林広一郎・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫 井上会員・守屋会員よりバレンタインのチョコレートを頂きました。

2月25日

牛山幸一・笠原新太郎・北澤洋之介・北村正春・小林純一・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・竹村一幸・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・山崎典夫 国際交流員マシュー・テイラー様、本日卓話よろしくようお願いいたします。

出席報告

会員数44名、出席者30名、出席率75%、前々回訂正88.10%

2013~2014年度RIテーマ
ロータリーを
実践し
みんなに豊かな人生を

